

理科

理科における指導の重点(身に付けさせたい力) ※学習指導要領に照らし合わせて	
ア 知識及び技能	イ 思考力、判断力、表現力等
自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な基本的な技能を身に付ける。	理科の見方・考え方を働かせながら、知識を活用して考えたり、様々な手段で表現したりする力を身に付ける。

	生徒の学力の状況(課題)	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証(2月)
第1学年	<p>ア 自然の事物への興味関心は高いが、四則演算が苦手な生徒が多い。</p> <p>イ 問題に対する考えを自分の言葉で説明したり、その知識を応用して考えたりすることに課題がある。</p>	<p>ア こまめに振り返りを行い、基本的な内容について、定着を図る。特に計算が必要な分野は丁寧に確認する。</p> <p>イ ロイロノートを活用して、自分の考えを書き、他者と共有する習慣を付ける。</p>	年間を通して	
第2学年	<p>アイ 基本的な知識については、振り返りの学習を通して概ね理解できている。自分の言葉で説明したり、その知識を応用して考えたりすることに課題がある。</p>	<p>ア こまめに振り返りを行い、基本的な知識の定着を図る。</p> <p>イ ロイロノートを活用して、学習した内容を自分の言葉で説明して振り返る習慣を付ける。</p>	年間を通して	
第3学年	<p>アイ 復習確認テストでは、基本的な用語は理解しているが、計算や作図に課題が見られた。これまでの知識を応用して考える問題について、苦手意識をもつ傾向がある。</p>	<p>ア 普段からこまめに小テストを行うことで知識の確認をしていく。</p> <p>イ 実験の考察を深く理解し、一つ一つの現象をつなぎ合わせるような授業展開を考えていく。さらに、問題演習を行い、反復して取り組む。</p>	年間を通して	

■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について	■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について
<p>全学年 ロイロノートを活用し、問題に対する自分の考えを他者の考えと比較・共有しながら学ぶ。【重点:協働】</p> <p>3年 生徒一人一人が個別に学べるコンテンツ(シミュレーションソフトやデジタルドリル等)を活用する。【重点:個別】</p>	<p>1・2年 授業ごとに振り返りを行うとともに、小单元ごとに小テストを行う。また、定期考査ごとに自分の考え方や取り組みを分析させる。</p> <p>3年 小单元ごとに小テストを行い、知識の定着を確認する。定期考査の振り返りを行い、自分の考え方や取り組みを分析させる。</p>